



本書は習近平新時代の中国の特色ある社会主義思想の発展の経緯と主要な内容を集中的に反映し、中国共産党が人類の平和と発展の事業を促進するために貢献した中国の知恵と中国のプランを十分に体現している。本書は習総書記の2014年8月18日から17年9月29日までの間の講話、談話、演説、指示、祝電など計99編の文章を収録し、17のテーマに分かれ、読者が理解しやすいように、必要な注釈も丁寧に入れられている。

出版 外文出版社
発行 2017年11月
定価 上製本120元

人類運命共同体は「中国のための策」であるのみならず、「世界各国のための策」でもあり、さらには「全人類のための策」で、世界各国の協力・ウィンウィンの利益の「支点」を探り当てたため、強大な生命力と団結力を有する。人類運命共同体の構築は重大な意義があり、中国にとっても世界各国や人類社会の発展にとっても深い影響を持つものである。中国は「ウインウィン主義」を堅く奉じて、積極的に「一带一路（シルクロード）経済ベルト」と21世紀海上シルクロード」建設を推進し、「五位一体」の人類運命共同

人類運命共同体 どう構築

胡鞍鋼 李萍＝文



2017年3月23日、国連人権理事会第37回会議で中国が提案した「人権分野で協力・ウインウィン」を促進することを旨とする決議が採択された（新華社）

の今後重要な方向であり、人類社会の永續的發展実現のための必要条件でもある。グリーン発展とはすなわち資源要素配置のエコ化置換の実現で、新たなエコ生産関数の形成が必要とされる。また、人と自然の「天人合一」「天人相益」の実現が必要とされ、それにより人類が自然に根差し、自然に順応し、自然のためとなり、自然の恩に報いることを実現する。世界各国の人民はグリーン発展のコンセンサスをつくりあげ、グリーンでローカーボン、リサイクルや持続可能な発展の道を堅持し、グリーンで美しい世界を建設すべきである。世界各国政府は積極的にグローバル・バリエーションのエコ化政策の手段を積極的に模索し、工業文明とエコ文明との間の関係を正確に認識・処理し、グローバル・エコシステムの確立を急ぐべきである。

ず、世界各国と共に長く続く平和な世界を建設することを提唱している。新時代において、世界各国は「ジャングルの法則」「弱肉強食」「強者が王」「勝利者の一人占め」などの理念を捨て、侵略拡張、植民略奪、大国の小国いじめ、強国の弱国いじめなど、各種の不公平・不公正な行為に断固として反対し、国際紛争や国際衝突を妥当に処理して、相互尊重・公平正義・協力ウインウィンを中心に構築すべきだ。新型国際関係において、主要な大国間の関係はことのほか重要であり、相互補充・相互補完のハイレベル戦略パートナーシップの構築は、世界の大局の維持と平和・安定、人類社会の発展・進歩の促進に重

要な役割を持つている。安全保障において、新時代の新安全保障観を確立し、普遍的な安全な世界を建設する。国際情勢の動揺・不安、各種の従来からの安全への脅威と新たに出現した安全への脅威が尽きない情勢の下で、世界各国人民の安全保障に対する渴望はより強烈なものとなっている。新時代における安全に対する各種の脅威に対応するため、世界各国は政治安全・国土安全・軍事安全・経済安全・文化安全・社会安全・科学技術安全・情報安全・生態安全・資源安全・原子力安全などを一体とした国家安全保障システムの構築に力を入れ、新時代の「新国家安全保障観」を確立し、「協力により平和を図り、協力により安全を促す」といった全面的な安全・共同安全・協力安全・持続可能な安全保障理念を堅持して、「自身の安全」により「世界の安全」に貢献する。

経済において、開放型世界経済を發展させ、共に繁栄する世界を建設する。世界各国は開放・イノベーションの精神を受け継ぎ、互恵ウインウィン・各方面の利益獲得・ウインウィン協力により、世界の経済成長に新たな動力を注ぎ込み、経済が広くバランスよく發展し、貧富の大きなギャップを効果的に埋め、心一つにして共に繁栄する開放型世界を建設しなければならぬ。「内向きに縮まる」ことでは実質的に問題を解決できず、開放型世界経済の構築こそが包括的成長と持続可能な発展を実現する最も効果

（本稿は、胡鞍鋼教授と清華大学国情研究院院助手研究員・公共管理学院ボスドクらの李萍氏との共同執筆による）



胡鞍鋼

清華大学国情研究院院長、清華大学公共管理学院教授、博士課程指導教授。1988年に中国科学院の工学博士の学位を取得し、91年から92年までエル大学経済学部で博士研究員として在籍。2004年にロシア科学アカデミー東洋学研究所から経済学博士の称号を得る。中国の国情研究に関連する著作が日本語を含めて多言語に翻訳・出版されている。